

Infinity

～ 学ぶということ ～

学ぶということ。家では親の手伝いもせず、外では老人に席も譲らず、相手を騙してでも人には勝ちたい、周りは全部競争相手だと、勉強最優先の生活を送っている若者がいる。人を思いやる余裕のないうちは、いくら勉強したって何も身に付かないよ。

進路が決定した者も、そうでない者も、学ぶということの本質を見失わないようにしてください。2 学期の期末考査が終わり、いよいよ卒業に向けてカウントダウンが始まりました。まずは、この特編期間をどう過ごすか。進路が決定しているからと言って羽目を外してしまい、人に迷惑をかけるようなことをしてしまうと、その進路の価値は一気に下がってしまいます。また、進路が決定していないからと言って上述のように本質を見失ってしまうことも良くないですね。

人権 LHR の授業で、「人の価値」について考えました。ざっくりとこんな内容。

「Q.受験の結果で人の価値は決まりますか？→A.決まりません。」

きっと、授業でこの問いを考えれば、「そんなので決まるわけないやん！」と口を揃えて答えると思います。しかし、やはり自分のこととなると、その結果に振り回されてしまうことがあるのではないのでしょうか？

受験の可否は、ただの結果です。それ以上でも、それ以下でもありません。あなたが受験というものにどう取り組み、どう成長したか。きれいごとだけど、結局これが大事なこと。そもそも、受験というものは目標や目的を達成するための手段に過ぎません。

たかが受験。

合否だけに振り回されているようでは、その先の大切な目標を見失ってしまいます。受験は、あなたの目標を叶えるための手段に過ぎない。その手段のために目標を見失ってしまうなんて、それこそ本末転倒です。

されど受験。

しかし、たかが手段だからと言って軽視していいと言うわけではない。結果に対し大いに喜び悔しがる。それで良いと思います。だって、そのために頑張ってきたのだから。頑張った分だけ喜ばばいいし、悔しがればいいと思います。ただ、どんな結果であっても、あなたの頑張りをいつも支えてくれている人への感謝を忘れず、やはり謙虚に取り組むべきです。

受験の結果で人の価値は決まりません。しかし、受験に取り組む姿勢や受験を通してどう成長したかで、少なくとも、あなたにとっての受験の価値は変わると思います。

学校行事など、ことあるごとに皆さんに伝えてきたことがあります。その行事が良いものだったかどうかについてー。上手くいっただけでいい行事だった。また、上手いかわないことがあったから悪い行事だった。ではなく、その行事で何を学んだか。そして、良いものだったと言うには、その後の学校生活が大切ではないかとー。こんな話をいつもしてきたわけですが、今回は「受験」をテーマに、同じようなことを伝えてみました。

さて、期末考査おつかれさまでした。進路決定の有無など、それぞれの状況があるとはいえ、みなさんにとって大切なものはやはりいつも変わらないと思います。残り少ない学校生活ですが、いつもの日常に感謝し、そして謙虚に過ごしましょう。それが締めくりにふさわしい所作です。